



設備のダイナミックケーパビリティの向上

山中誠二  (テービーテック) 南波 美月 (パナソニック)
津本卓也  (日産自動車) 高橋 健一郎 (パナソニック)
松井 貴男 (ニコン) 野上 和浩 (日立ソリューションテクノロジー)
黄波戸 信治 (たけびし) 井坂 星南 (LeadX)
半田恭大 (日本マイクロソフト) 近藤 忍 (シュナイダーエレクトリックホールディングス)
水野太郎 (オリシロジェノミクス)

発表者: 山中誠二

背景/困りごと

設備の追加・削除・変更時によるデータ取得の変更を各サーバの管理者（中間サーバ、DBサーバ、APLサーバ）に依頼をしなければならないので、工数・時間・お金がかかる

- ・設備、PLC、センサー、プロトコルがバラバラなので、それぞれのフォーマットに合わせて、データを取得し保存するのが大変

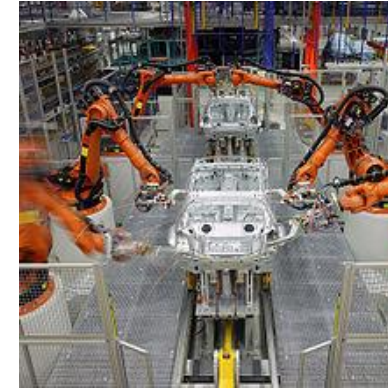
目指す姿

設備が変更されても工程の組替、製造品種変更が可能となる。今回は、ソフト的なシステム変更が課題となっているため、設備側の構成情報に合わせて上位システムに反映される仕組みを作り上げる

ゲートウェイで情報を変えると上位の仕組みも自動的に「即」反映される仕組みを作り上げる

対象とする工場や設備/部品

自動車工場：車体工場：車体組立

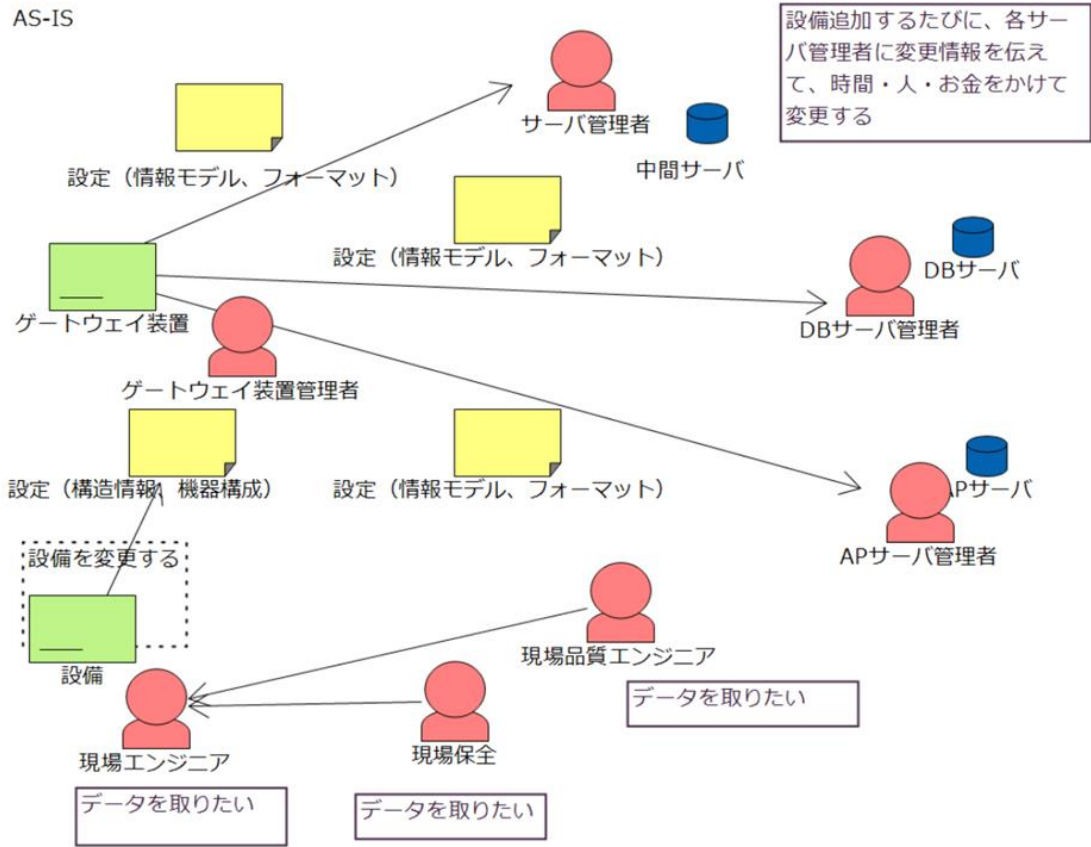


シナリオ概要

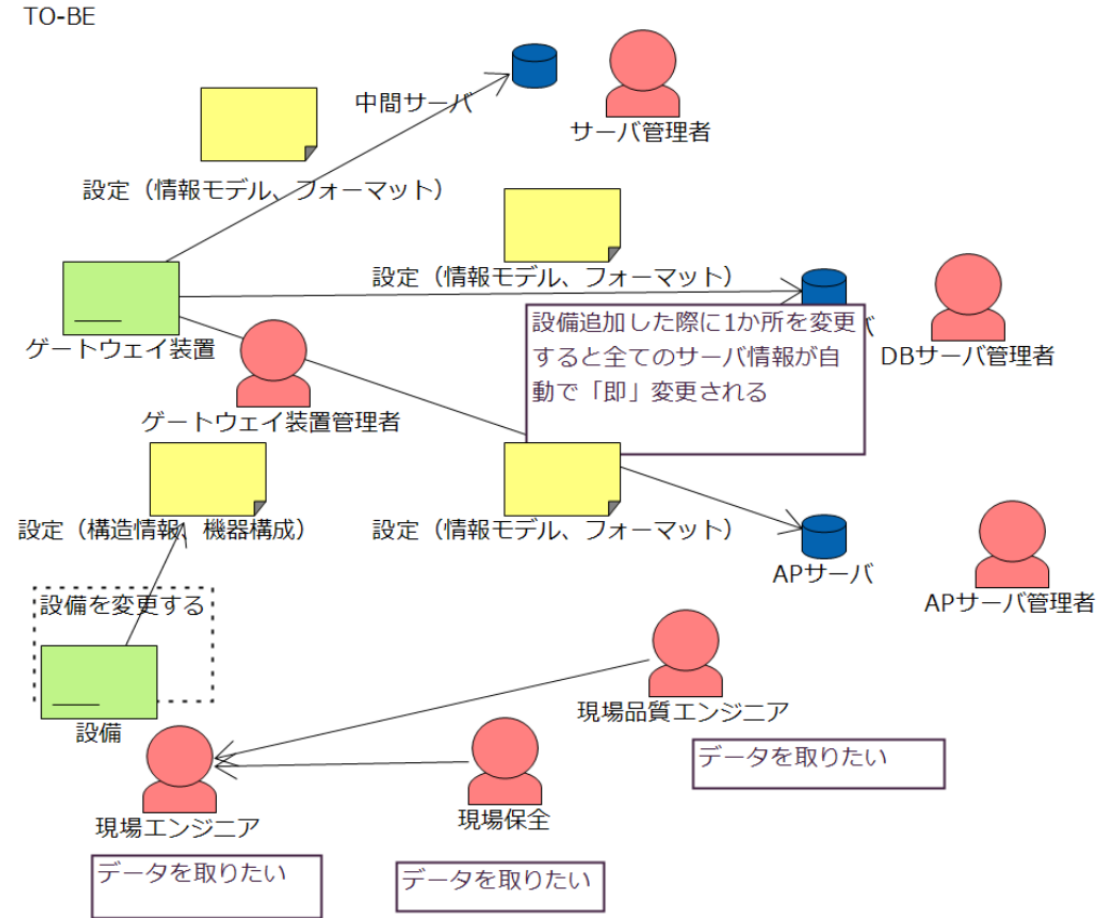
システムの変更に限定

実際のユースケースに即した設備の追加を想定して、ゲートウェイの構成情報に変更し、それに伴うDBやグラフ表示や解析機能が変更作業を効率化する方法を模索する

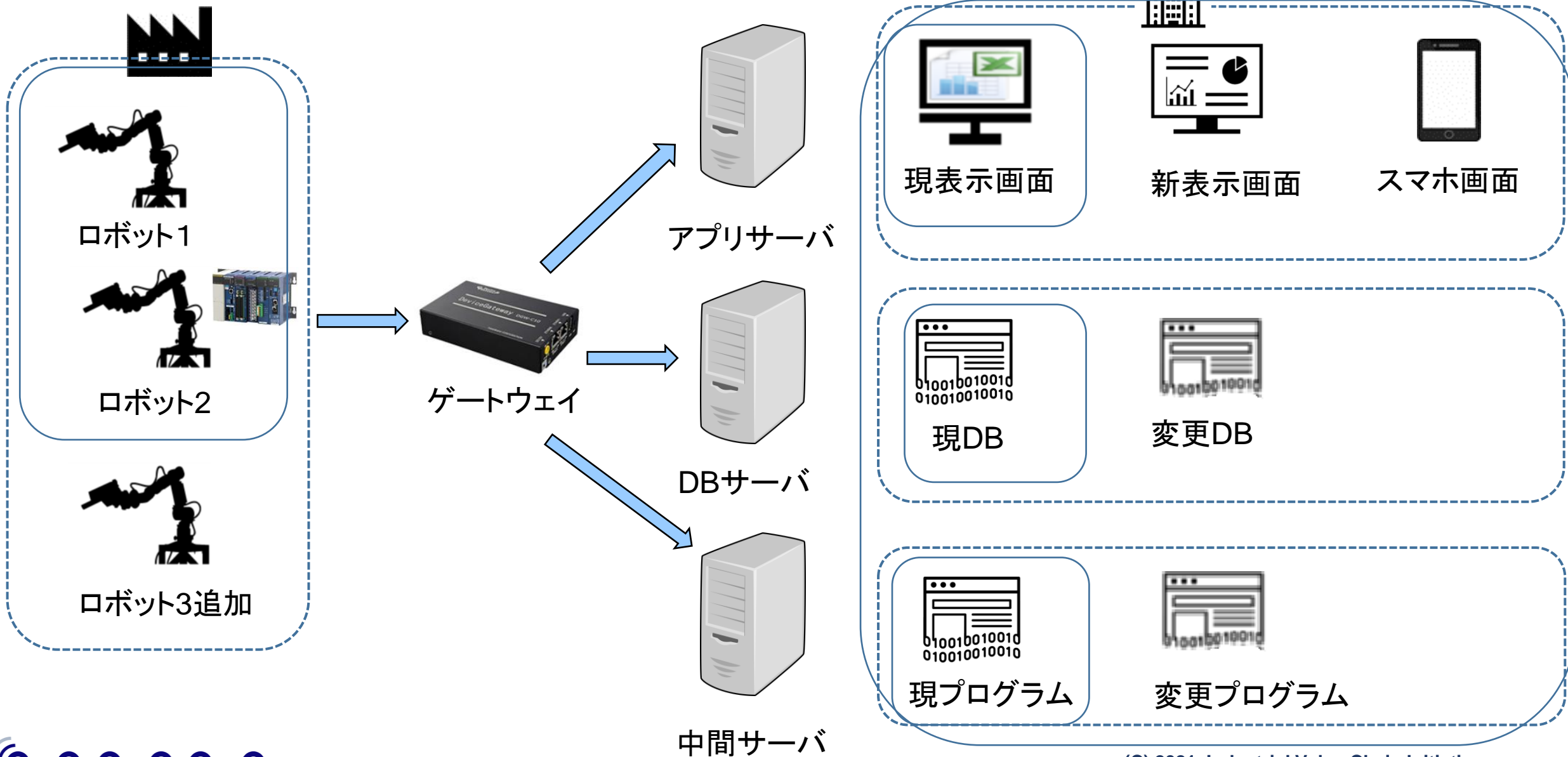
AS-IS



TO-BE

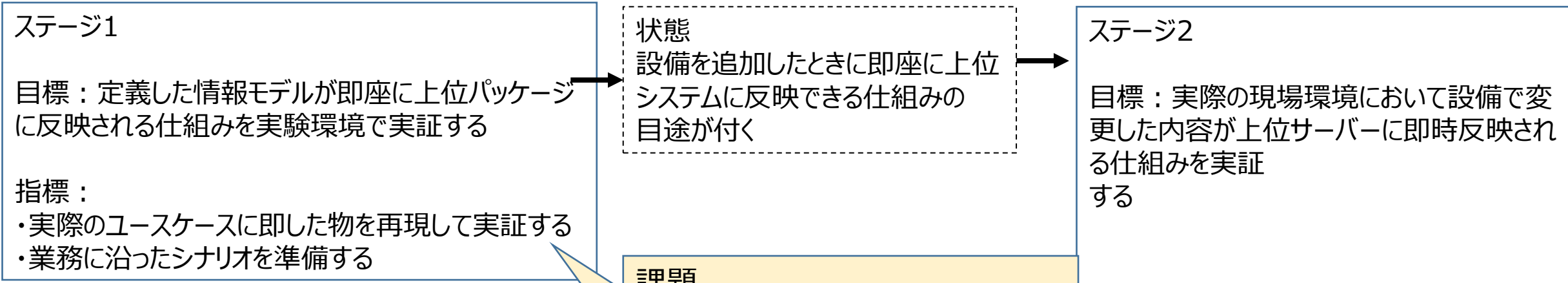


システム概要



実装方針

ソリューションの概要(展望)



実証実験の計画

- 業務シナリオの設定：～9月末
- 使用するパッケージの候補選定：～10月末
- 実験内容決定：～11月末
- 実験環境構築：～12月末
- 実験実証：～1月末
- 結果まとめ：～2月末
- 報告：3月初旬

